

### 3. 暮らしやすさ

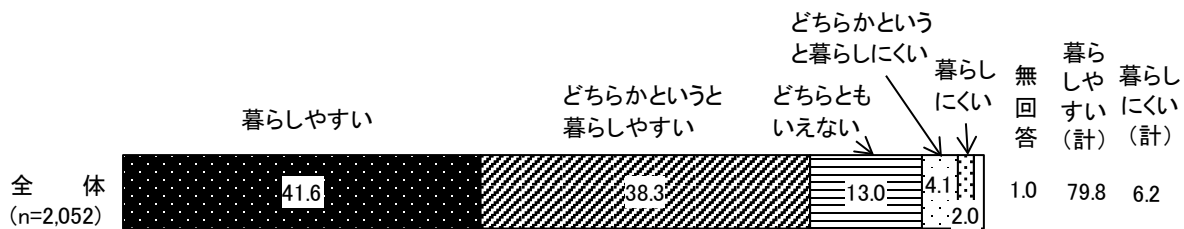
#### (1) 周辺環境の総合評価

問4 今のお住まいや周辺の環境をどのように感じていますか。(〇は1つ)

『暮らしやすい(計)』は8割近く

周辺環境の総合評価については、「暮らしやすい」(41.6%)と「どちらかという暮らしやすい」(38.3%)を合わせた『暮らしやすい(計)』(79.8%)は8割近くとなっている。

図3-1-1 周辺環境の総合評価[全体]

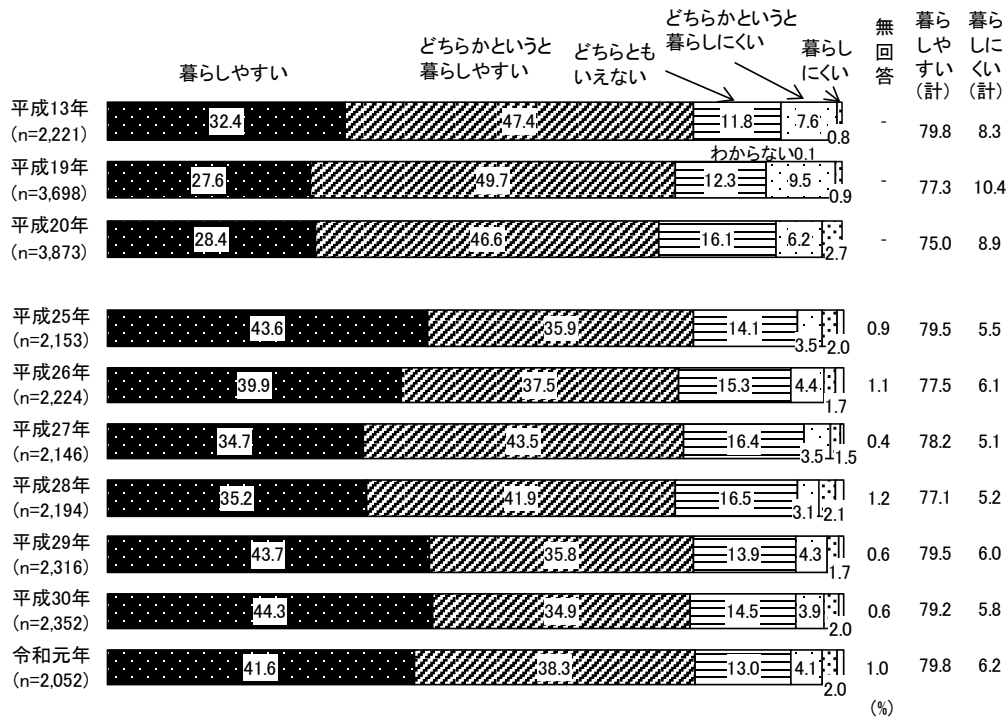


#### ① 周辺環境の総合評価 [経年変化]

『暮らしやすい(計)』は横ばい傾向

経年変化をみると、前回調査から『暮らしやすい(計)』は0.6ポイントの増加で、ここ数年横ばい傾向が続いている。

図3-1-2 周辺環境の総合評価 [経年変化]



(注1) 平成13年・平成19年調査は、設問文が「今お住まいの周辺の環境を暮らしやすいと感じていますか。」、平成20年調査は設問文が「あなたは現在のお住まいの環境を暮らしやすいと感じていますか。」である。

(注2) 平成13年・平成19年調査では選択肢の一部を以下のようにしていた。

「どちらかという暮らしやすい」は「まあ暮らしやすい」

「どちらかという暮らしにくい」は「あまり暮らしやすくない」

「暮らしにくい」は「まったく暮らしやすくない」

(注3) 平成13年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

② 周辺環境の総合評価 [ブロック別]

『暮らしやすい(計)』は北部で8割半ば

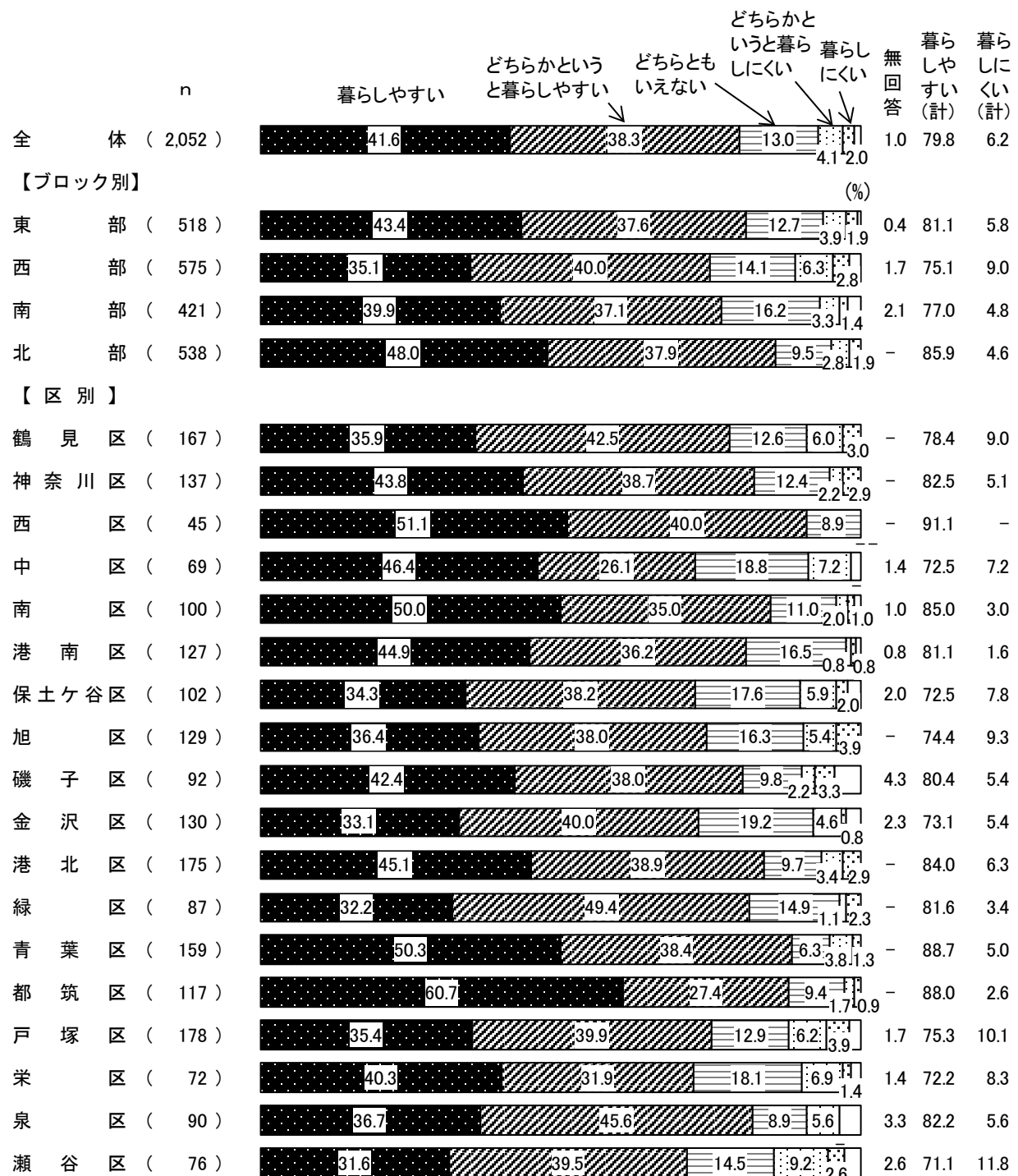
ブロック別にみると、『暮らしやすい(計)』は北部(85.9%)で8割半ばと最も多くなっている。

③ 周辺環境の総合評価 [区別]

『暮らしやすい(計)』は西区で9割を超える

区別にみると、『暮らしやすい(計)』は西区(91.1%)で9割を超えて最も多くなっている。一方、「暮らしにくい」と「どちらかという暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい(計)』は瀬谷区(11.8%)、戸塚区(10.1%)で1割を超えている。

図3-1-3 周辺環境の総合評価 [ブロック別、区別]

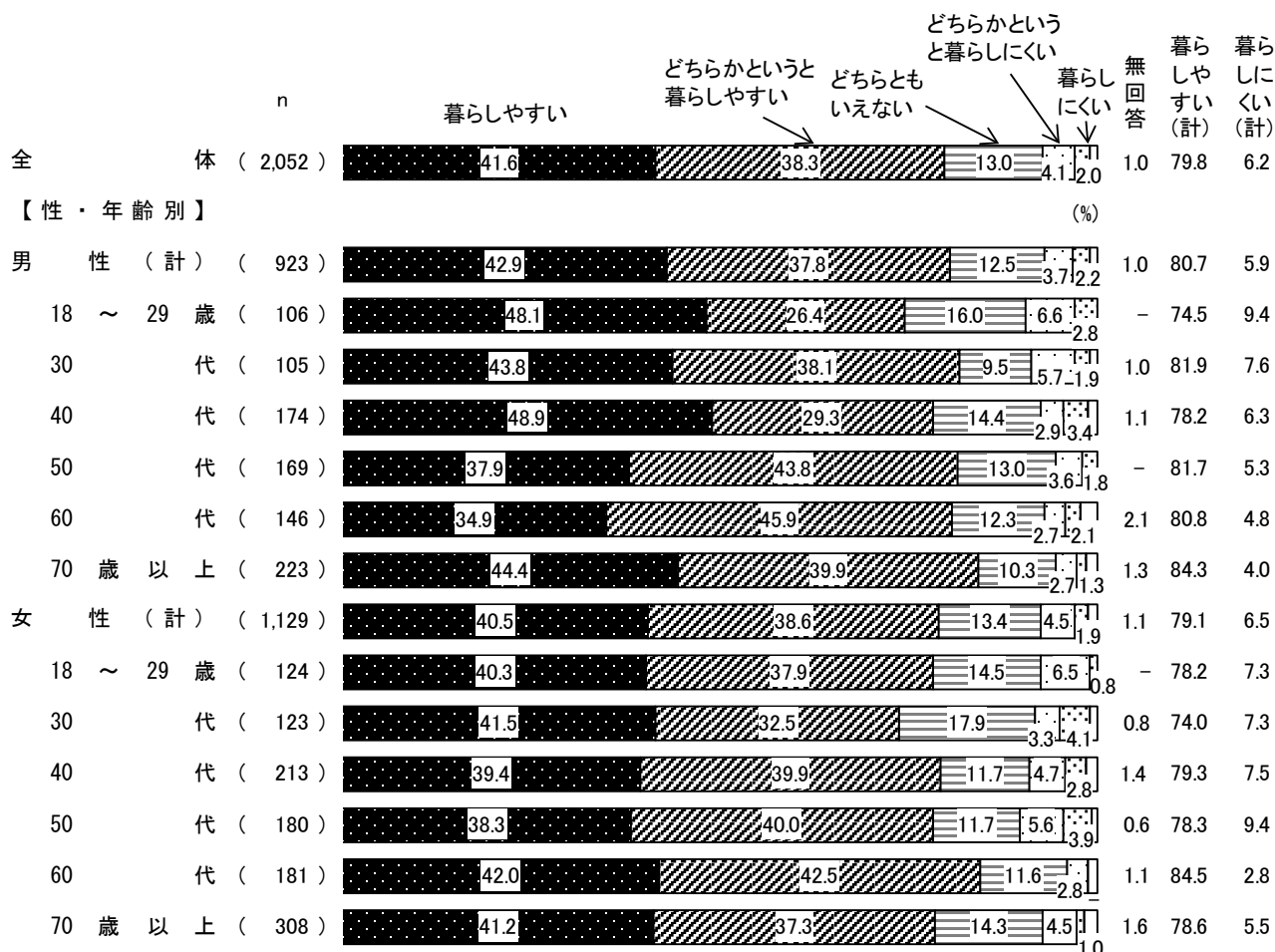


④ 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]

『暮らしやすい(計)』は女性60代、男性70歳以上で8割半ば

性・年齢別にみると、『暮らしやすい(計)』は女性60代(84.5%)、男性70歳以上(84.3%)で8割半ばと多くなっている。

図3-1-4 周辺環境の総合評価 [性・年齢別]



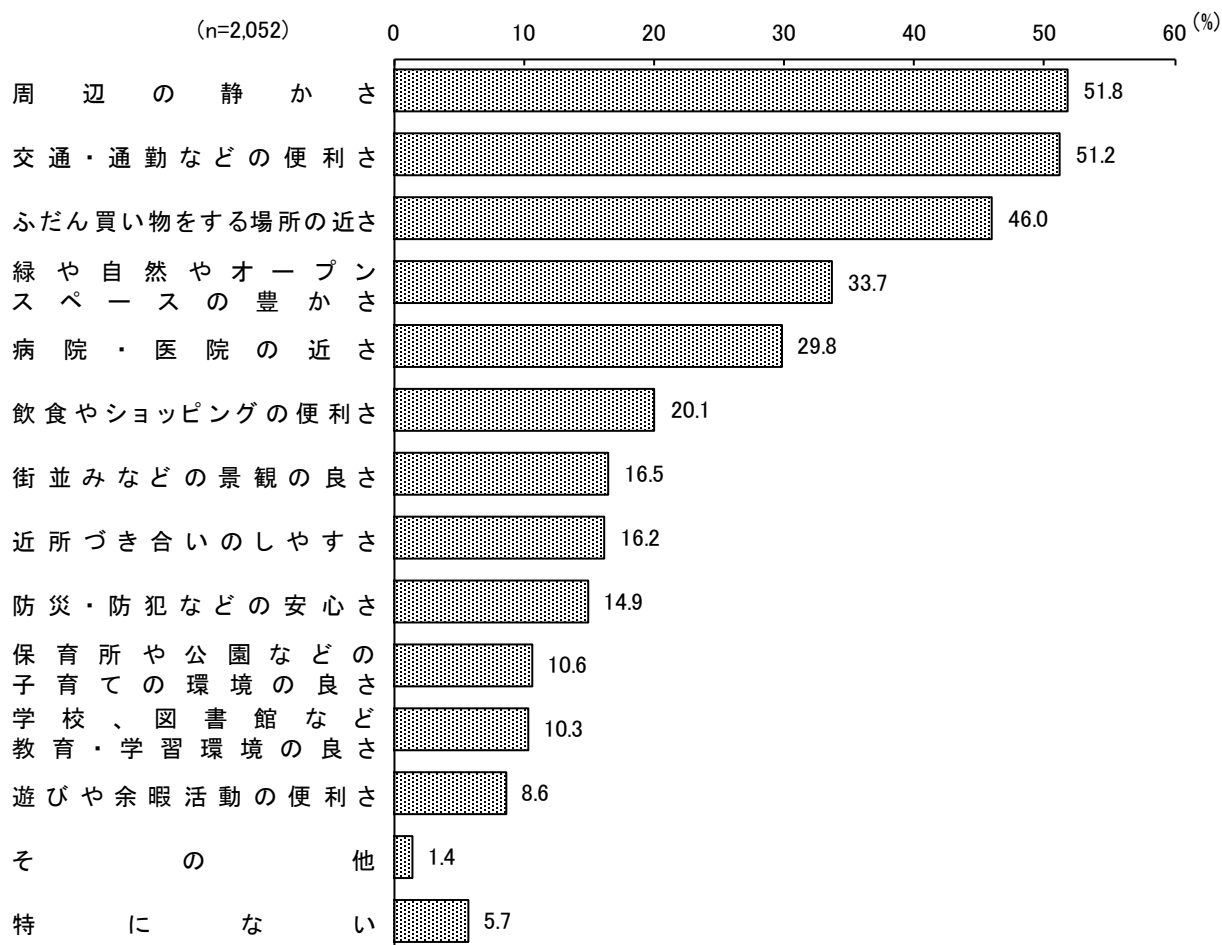
(2) 暮らしやすいと感じている点

問5 今のお住まいの周辺の環境で、暮らしやすいと感じているのはどのような点ですか。  
(〇はいくつでも)

「周辺の静かさ」、「交通・通勤などの便利さ」は5割を超える

暮らしやすいと感じている点については、「周辺の静かさ」(51.8%)、「交通・通勤などの便利さ」(51.2%)が5割を超えて多く、次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」(46.0%)、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」(33.7%)などの順となっている。

図3-2-1 暮らしやすいと感じている点[全体] (複数回答)

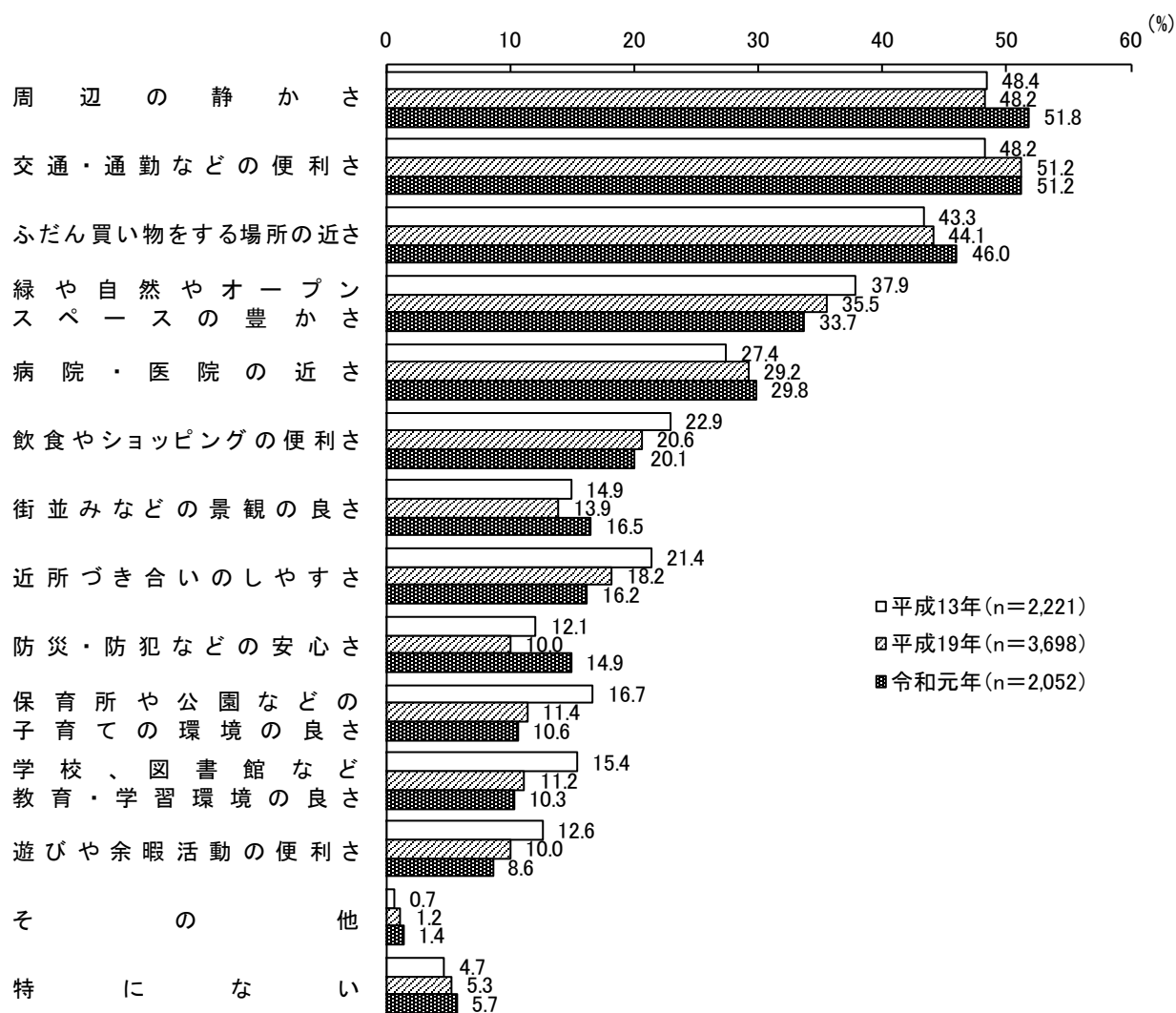


① 暮らしやすいと感じている点〔経年変化〕

「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」はやや増加傾向

経年変化をみると、「ふだん買い物をする場所の近さ」、「病院・医院の近さ」はやや増加傾向にあり、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」、「飲食やショッピングの便利さ」、「近所づき合いのしやすさ」、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」、「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」、「遊びや余暇活動の便利さ」は減少傾向となっている。

図3-2-2 暮らしやすいと感じている点〔経年変化〕（複数回答）



※平成13年の「特にない」（4.4%）は「わからない」（0.3%）を含んだ割合を示す。

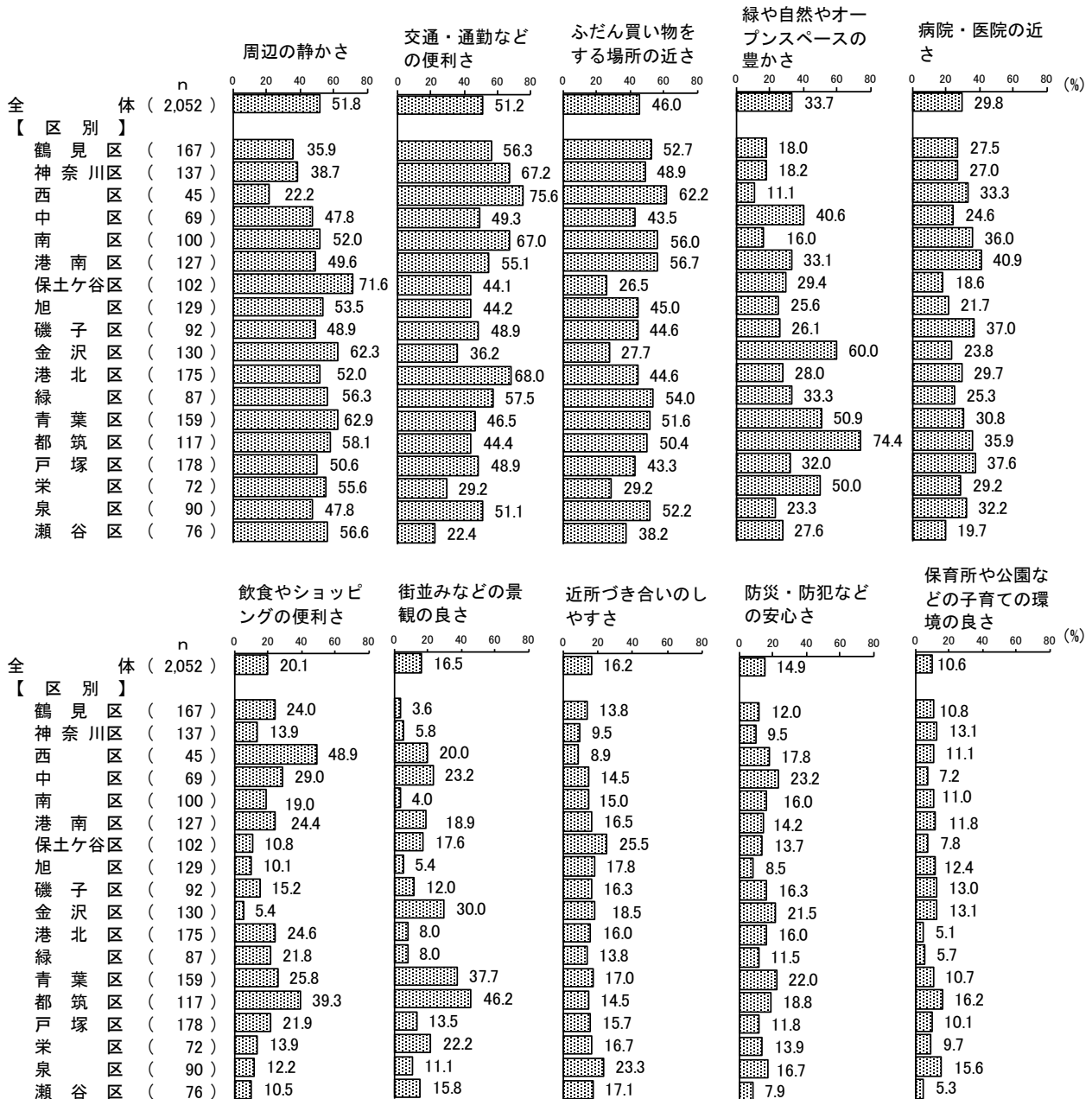
※「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は平成13、19年調査では「子どもを安心して遊ばせることができるなど子育て環境の良さ」としていた。

② 暮らしやすいと感じている点 [区別]

「交通・通勤などの便利さ」は西区で7割半ば

区別にみると、「交通・通勤などの便利さ」は西区(75.6%)で7割半ばと最も多くなっている。「周辺の静かさ」は保土ヶ谷区(71.6%)、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」は都筑区(74.4%)、「飲食やショッピングの便利さ」は西区(48.9%)、「街並みなどの景観の良さ」は都筑区(46.2%)でそれぞれ最も多い。

図3-2-3 暮らしやすいと感じている点 上位10項目 [区別] (複数回答)

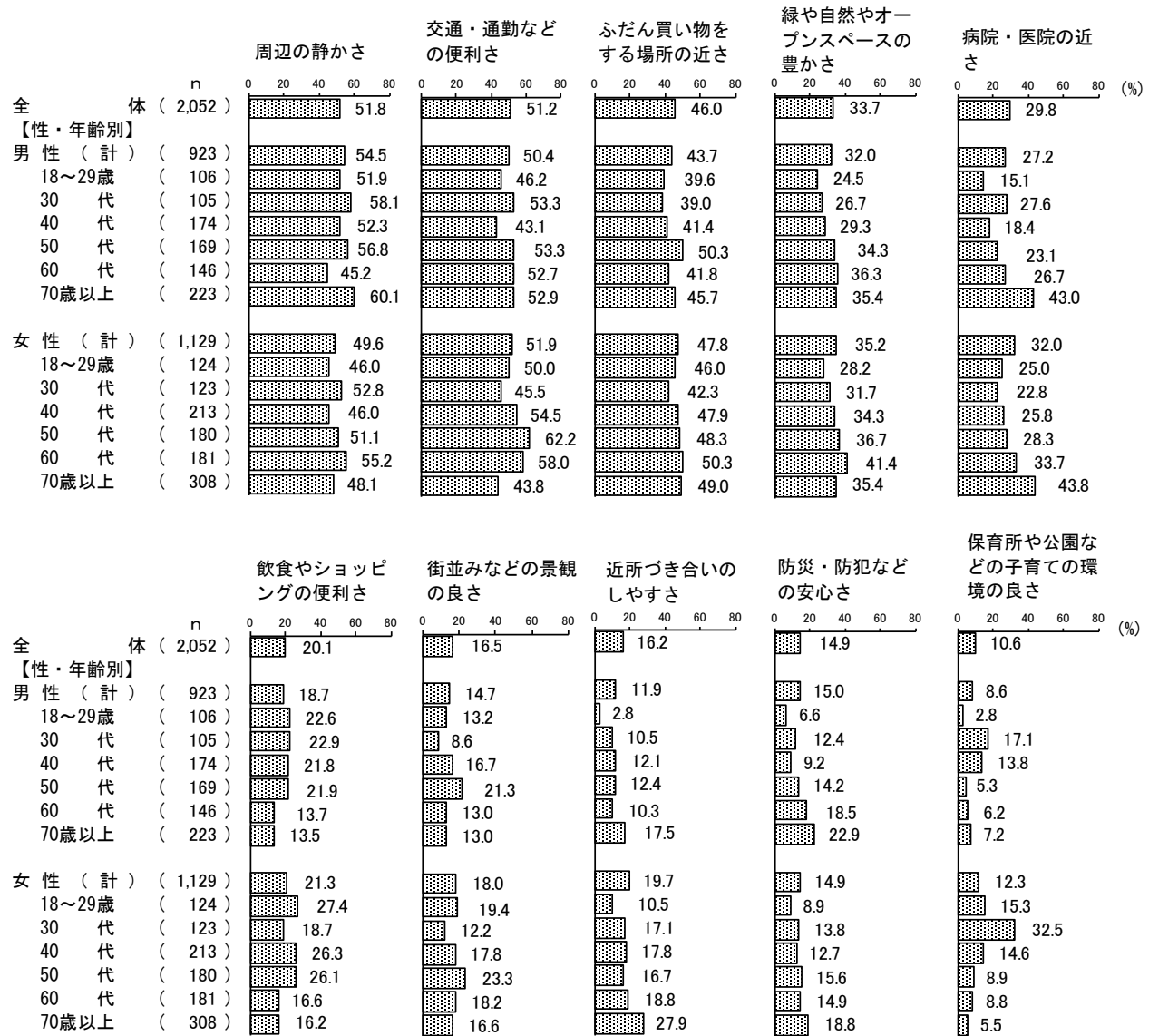


③ 暮らしやすいと感じている点 [性・年齢別]

「交通・通勤などの便利さ」は女性 50 代で 6 割を超える

性・年齢別にみると、「交通・通勤などの便利さ」は女性 50 代（62.2%）で 6 割を超えて最も多くなっている。「病院・医院の近さ」は女性 70 歳以上（43.8%）、男性 70 歳以上（43.0%）で 4 割半ば、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は女性 30 代（32.5%）で 3 割を超えてそれぞれ多い。

図 3-2-4 暮らしやすいと感じている点 上位 10 項目 [性・年齢別]（複数回答）

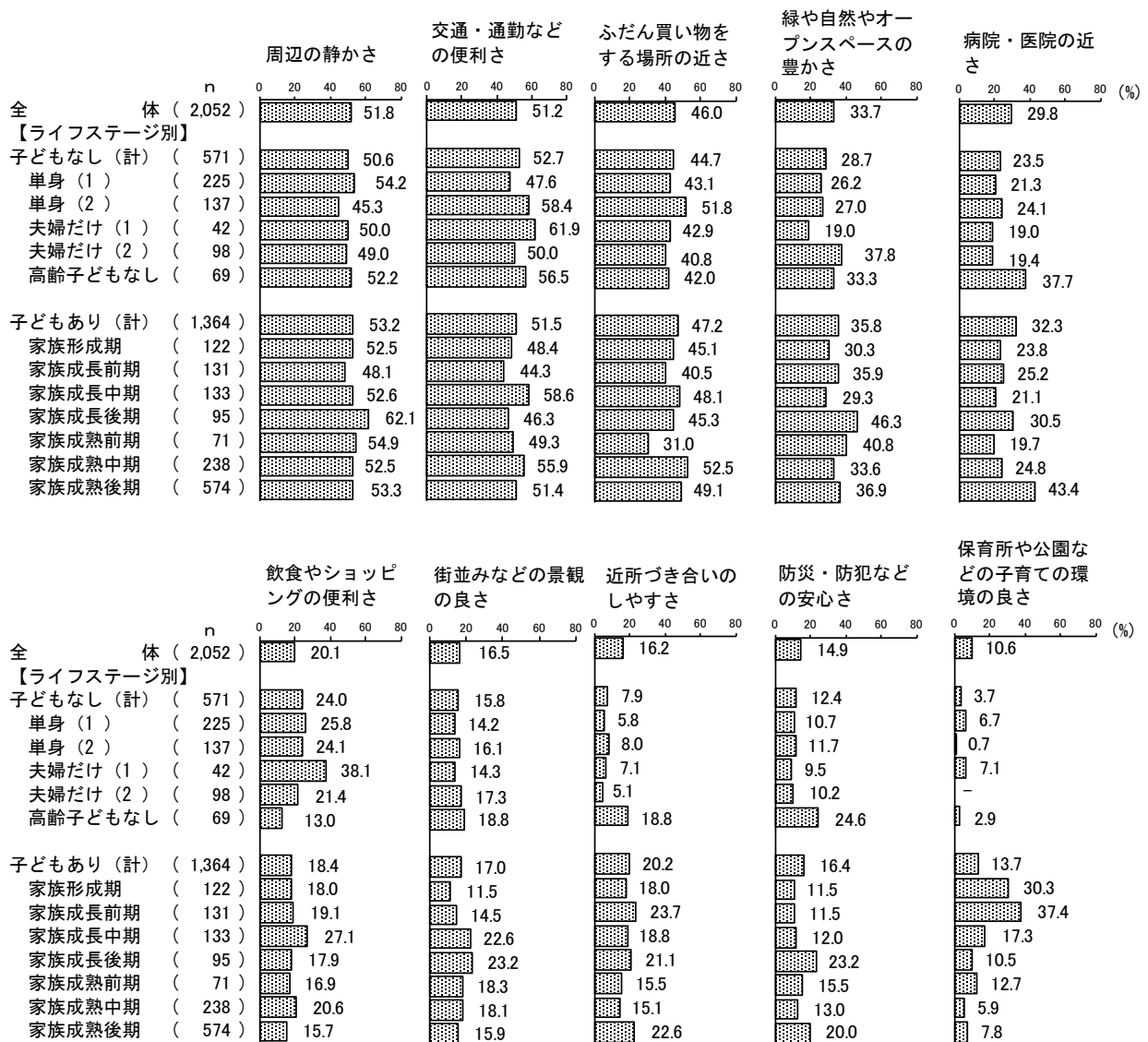


④ 暮らしやすいと感じている点 [ライフステージ別]

「病院・医院の近さ」は家族成熟後期で4割半ば

ライフステージ別にみると、「病院・医院の近さ」は家族成熟後期（43.4%）で4割半ばと多くなっている。「飲食やショッピングの便利さ」は夫婦だけ（1）（38.1%）、「保育所や公園などの子育ての環境の良さ」は家族成長前期（37.4%）、家族形成期（30.3%）でそれぞれ多い。

図3-2-5 暮らしやすいと感じている点 上位10項目 [ライフステージ別]（複数回答）





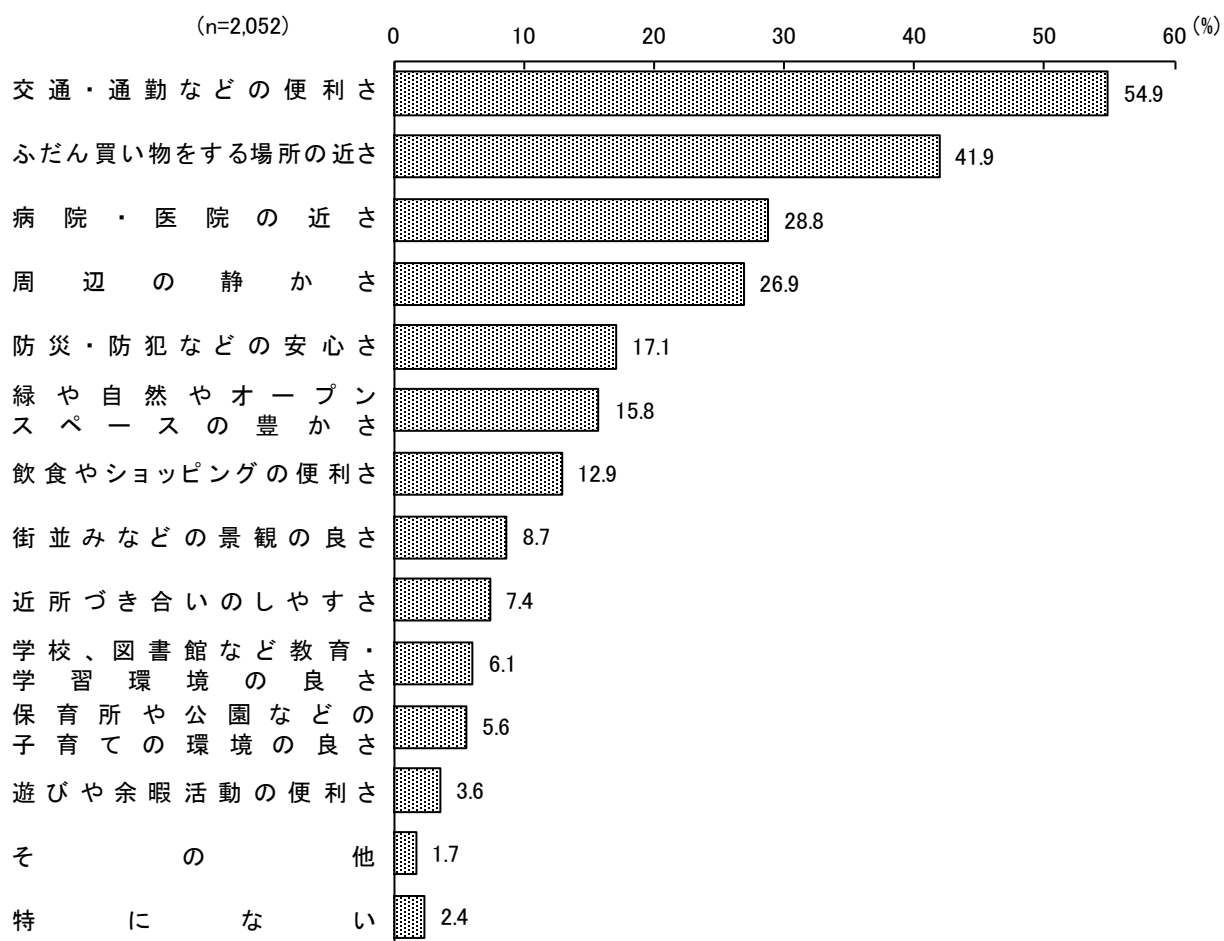
(3) 周辺環境で特に重視する点

問6 仮に、今のお住まいから転居するとしたら、新しいお住まいの周辺の環境で、特に重視するのはどのような点ですか。(〇は3つまで)

「交通・通勤などの便利さ」は5割半ば

周辺環境で特に重視する点については、「交通・通勤などの便利さ」(54.9%)が5割半ばで最も多く、次いで「ふだん買い物をする場所の近さ」(41.9%)、「病院・医院の近さ」(28.8%)、「周辺の静かさ」(26.9%)などの順となっている。

図3-3-1 周辺環境で特に重視する点[全体] (複数回答)

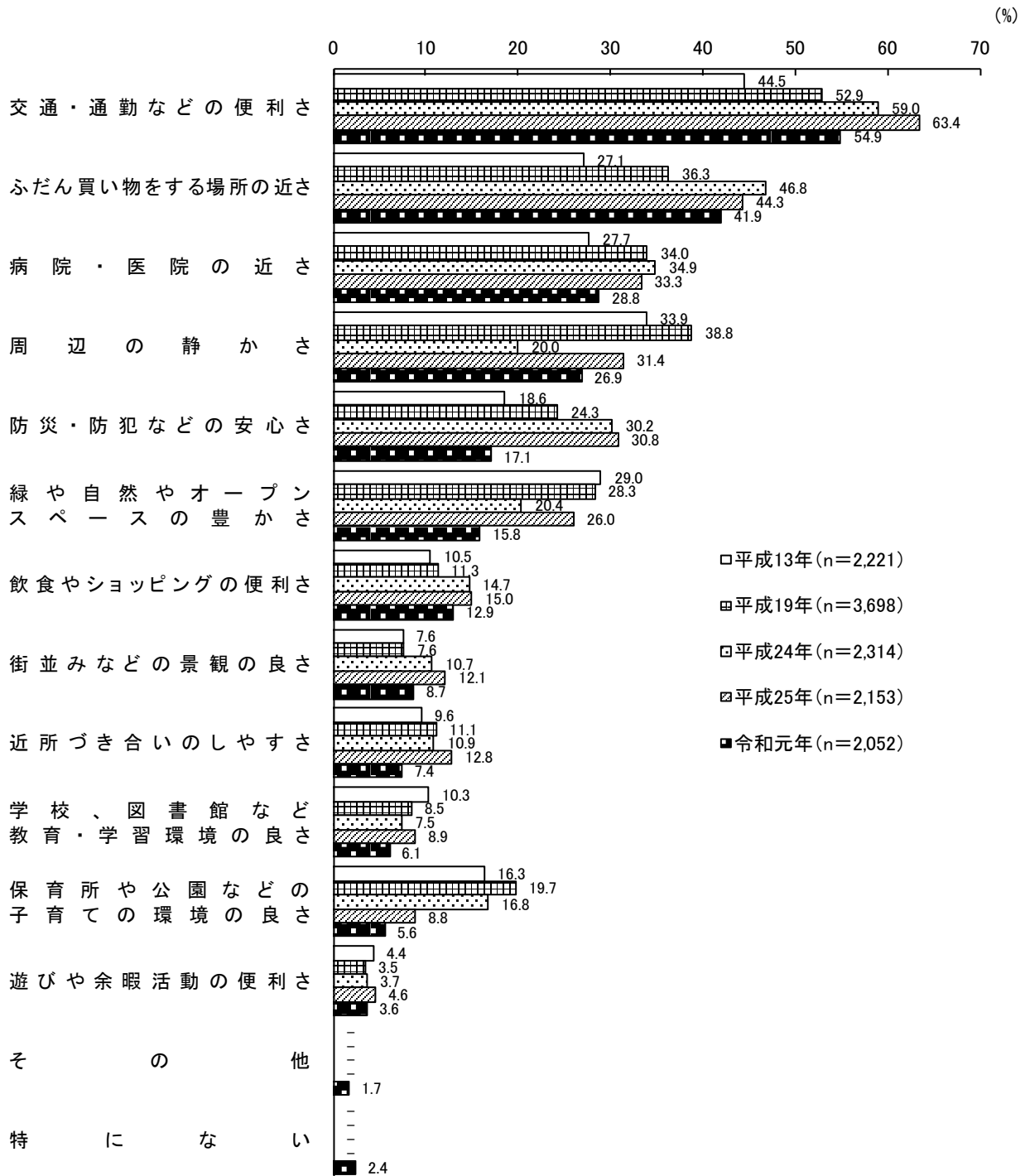


① 周辺環境で特に重視する点〔経年変化〕

「防災・防犯などの安心さ」は前回調査から 13.7 ポイント減少

経年変化をみると、「防災・防犯などの安心さ」は前回調査から 13.7 ポイント、「緑や自然やオープンスペースの豊かさ」は 10.2 ポイント、「交通・通勤などの便利さ」は 8.5 ポイント減少しており、他の項目も全て前回調査よりも減少している。

図 3-3-2 周辺環境で特に重視する点〔経年変化〕（複数回答）



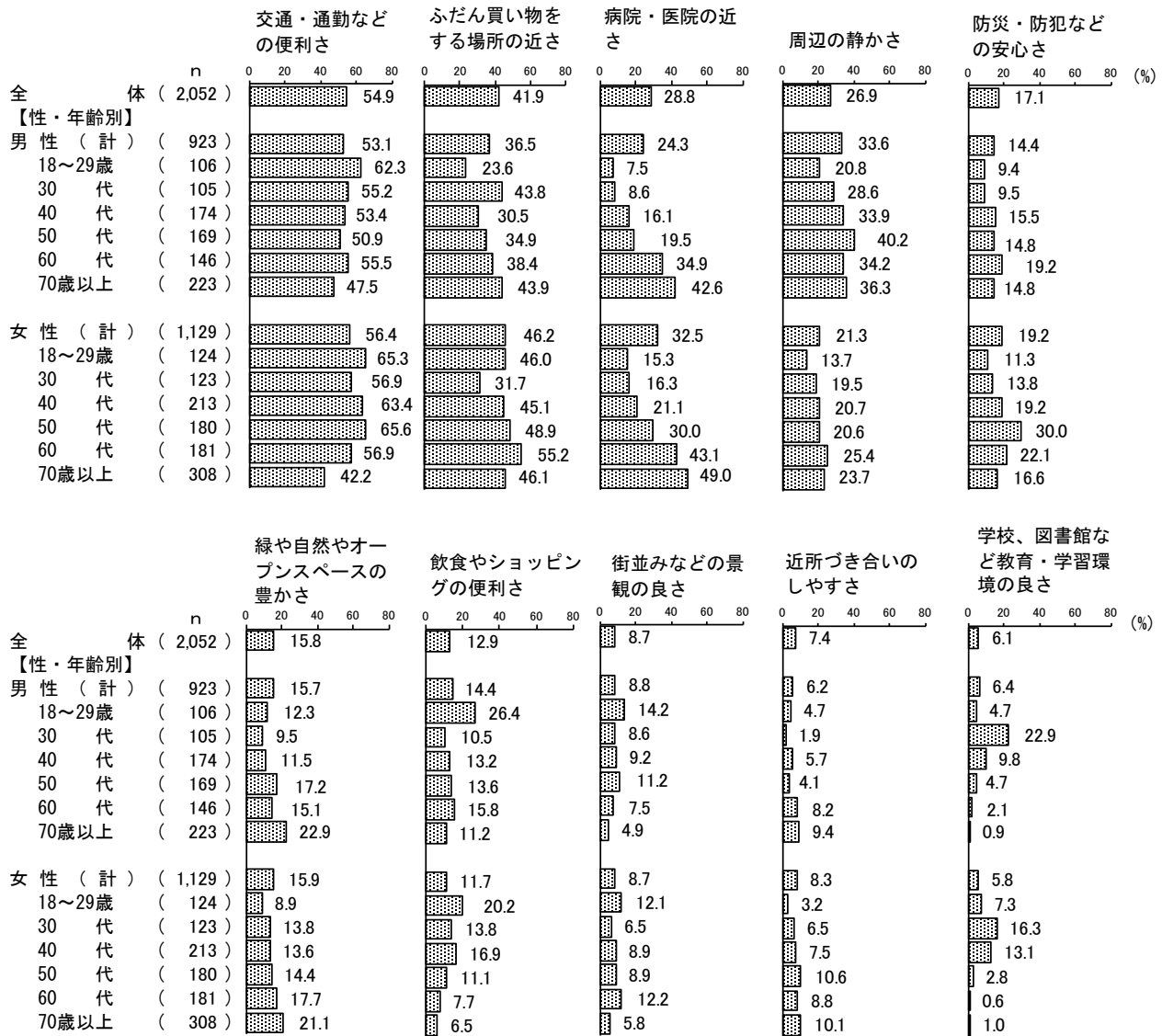
※「保育所や公園などの子育ての環境のよさ」は、平成 24 年までは「安心して子どもを遊ばせることができるなど子育ての環境のよさ」としていた。

② 周辺環境で特に重視する点 [性・年齢別]

「病院・医院の近さ」は男女とも年齢が高いほど多い

性・年齢別にみると、「病院・医院の近さ」は男女とも年齢が高いほど多くなっている。「飲食やショッピングの便利さ」は男性18～29歳（26.4%）、女性18～29歳（20.2%）で2割を超えて多い。

図3-3-3 周辺環境で特に重視する点 上位10項目 [性・年齢別] (複数回答)

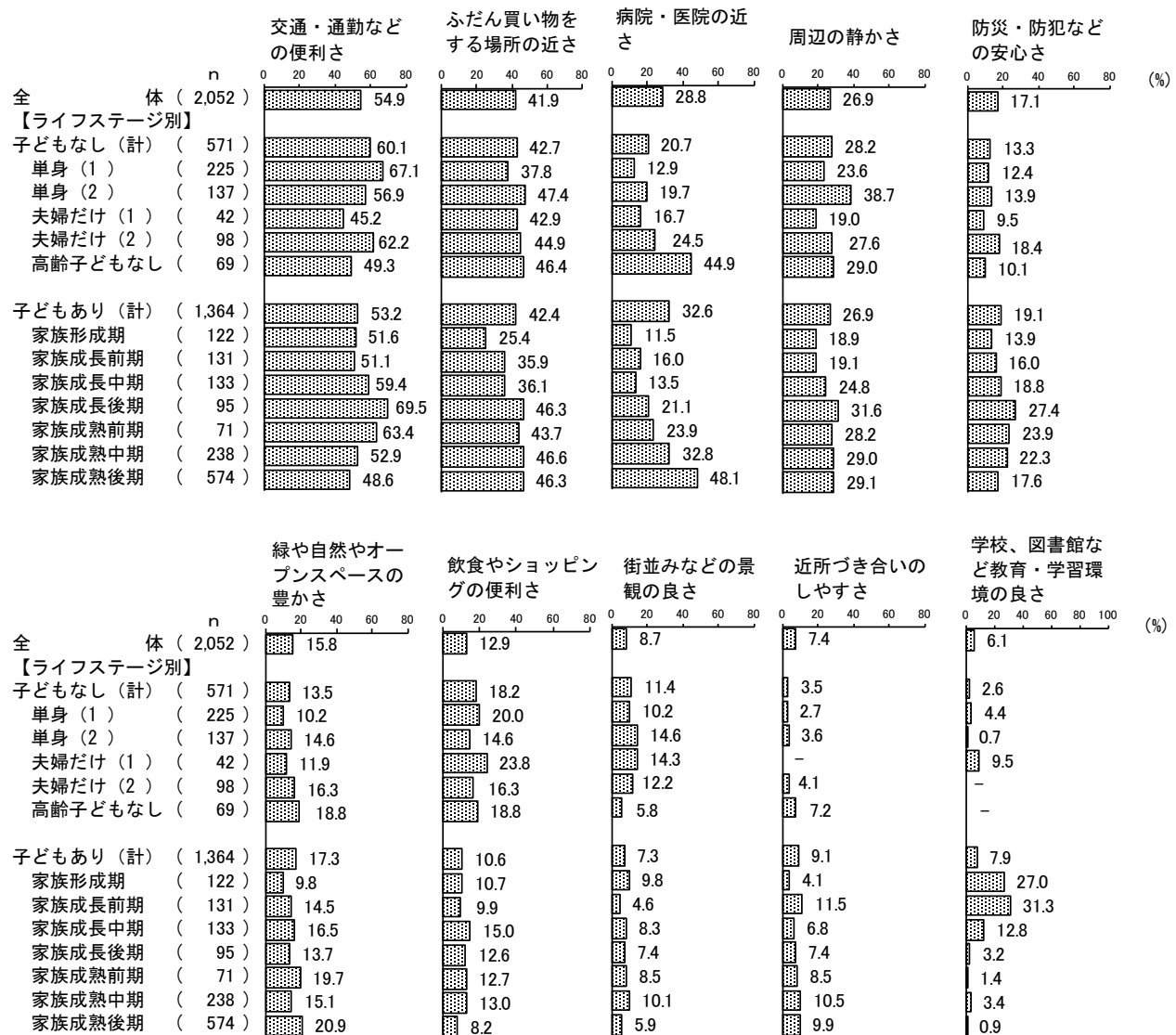


### ③ 周辺環境で特に重視する点 [ライフステージ別]

#### 「病院・医院の近さ」は家族成熟後期、高齢子どもなしで4割半ば以上

ライフステージ別にみると、「病院・医院の近さ」は家族成熟後期（48.1%）で5割近くと最も多く、次いで高齢子どもなし（44.9%）で4割半ばとなっている。「学校、図書館など教育・学習環境の良さ」は家族成長前期（31.3%）で3割を超えて、家族形成期（27.0%）で2割半ばと多い。

図3-3-4 周辺環境で特に重視する点 上位10項目 [ライフステージ別] (複数回答)



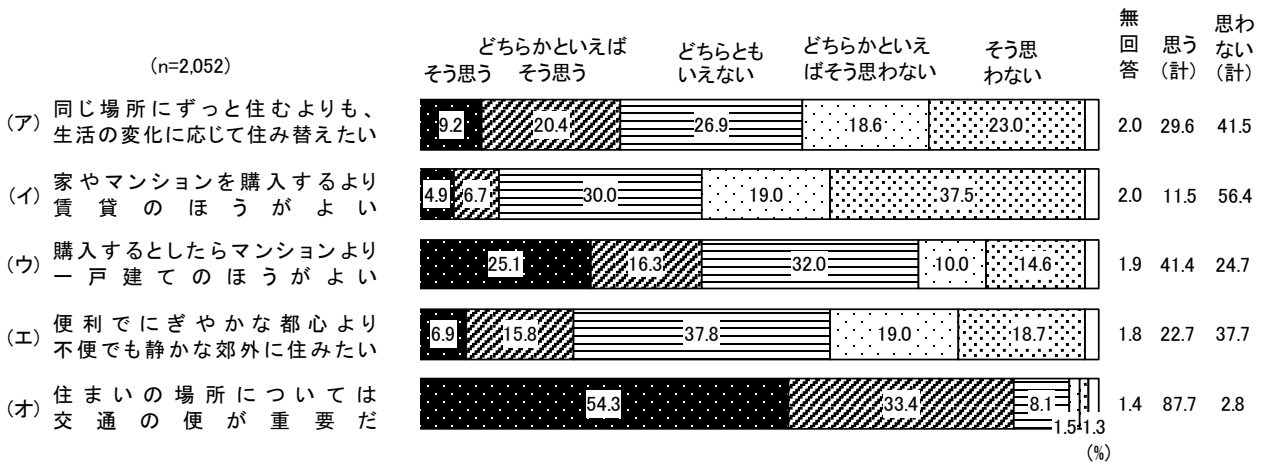
(4) 住まいに関する価値観

問7 住まいに関する次のような意見について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。(〇はそれぞれ1つ)

『思う(計)』は《住まいの場所については交通の便が重要だ》で8割半ば

住まいに関する価値観について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う(計)』は、《住まいの場所については交通の便が重要だ》(87.7%)で8割半ばとなっている。

図3-4-1 住まいに関する価値観[全体]

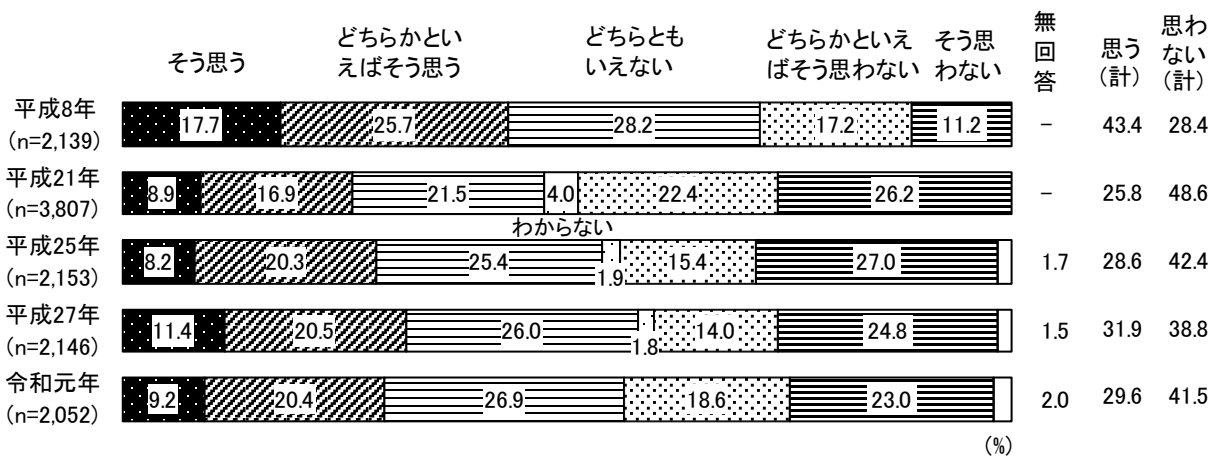


① 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [経年変化]

『思う(計)』は2.3ポイント減少

経年変化をみると、前回調査に比べ『思う(計)』は2.3ポイント減少、『思わない(計)』は2.7ポイントの増加となっている。

図3-4-2 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [経年変化]



※平成8年度は、「そう思う」は「まったくそう思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

② 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい  
 [年齢別]

『思わない(計)』は70歳以上で5割半ば

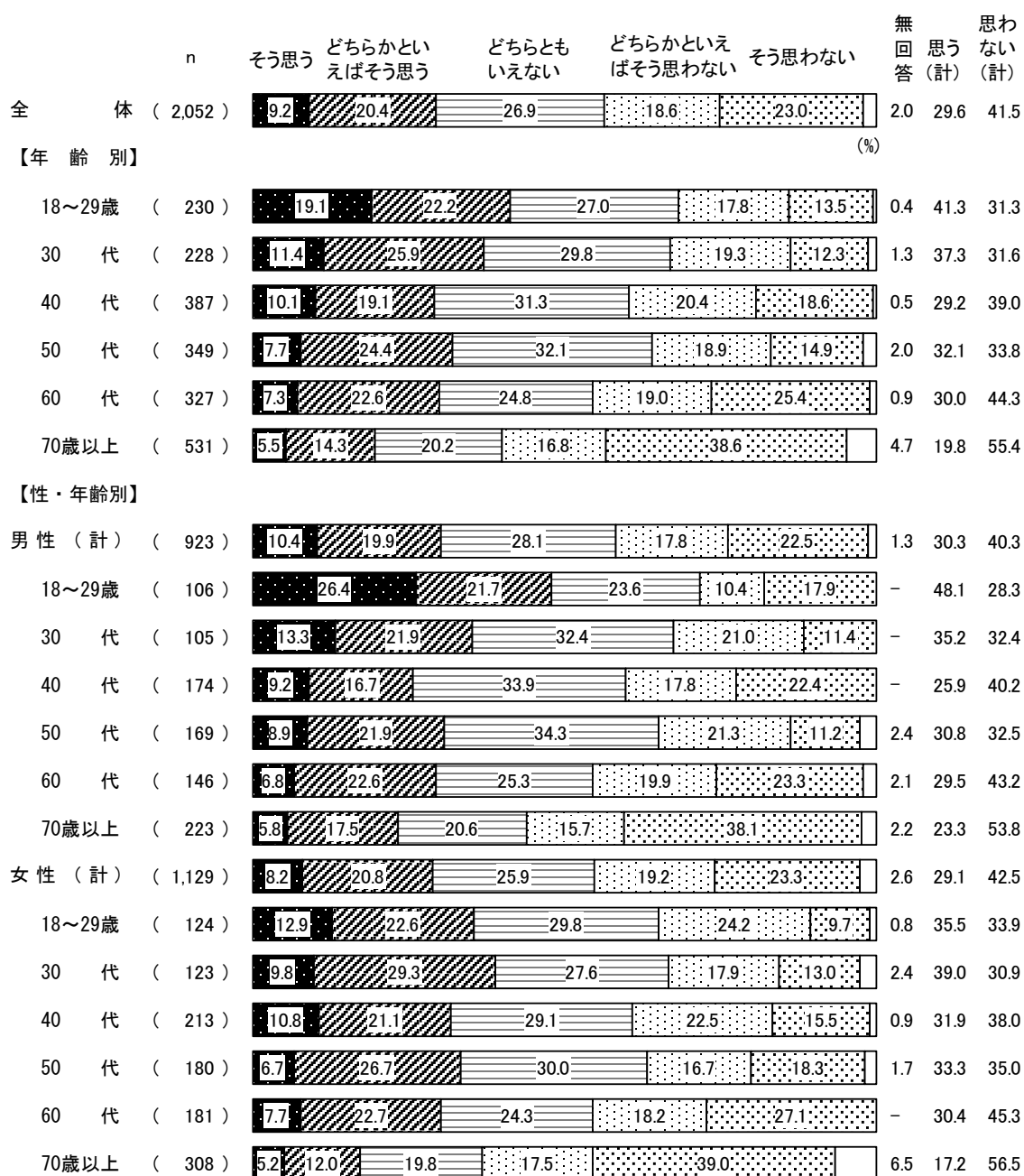
年齢別にみると、『思う(計)』は18～29歳(41.3%)で4割を超えて最も多い。『思わない(計)』は70歳以上(55.4%)で5割半ばと最も多くなっている。なお、70歳以上を70代と80歳以上とに分けてみると、『思う(計)』は70代が2割強、80歳以上は1割半ばと更に少なくなっている。

③ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい  
 [性・年齢別]

『思う(計)』は男性18～29歳で5割近く

性・年齢別にみると、『思う(計)』は男性は18～29歳(48.1%)で5割近く、女性は30代(39.0%)で4割近くと多くなっている。

図3-4-3 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [年齢別、性・年齢別]



④ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい  
 [ライフステージ別]

『思わない(計)』は家族成熟後期で5割半ば

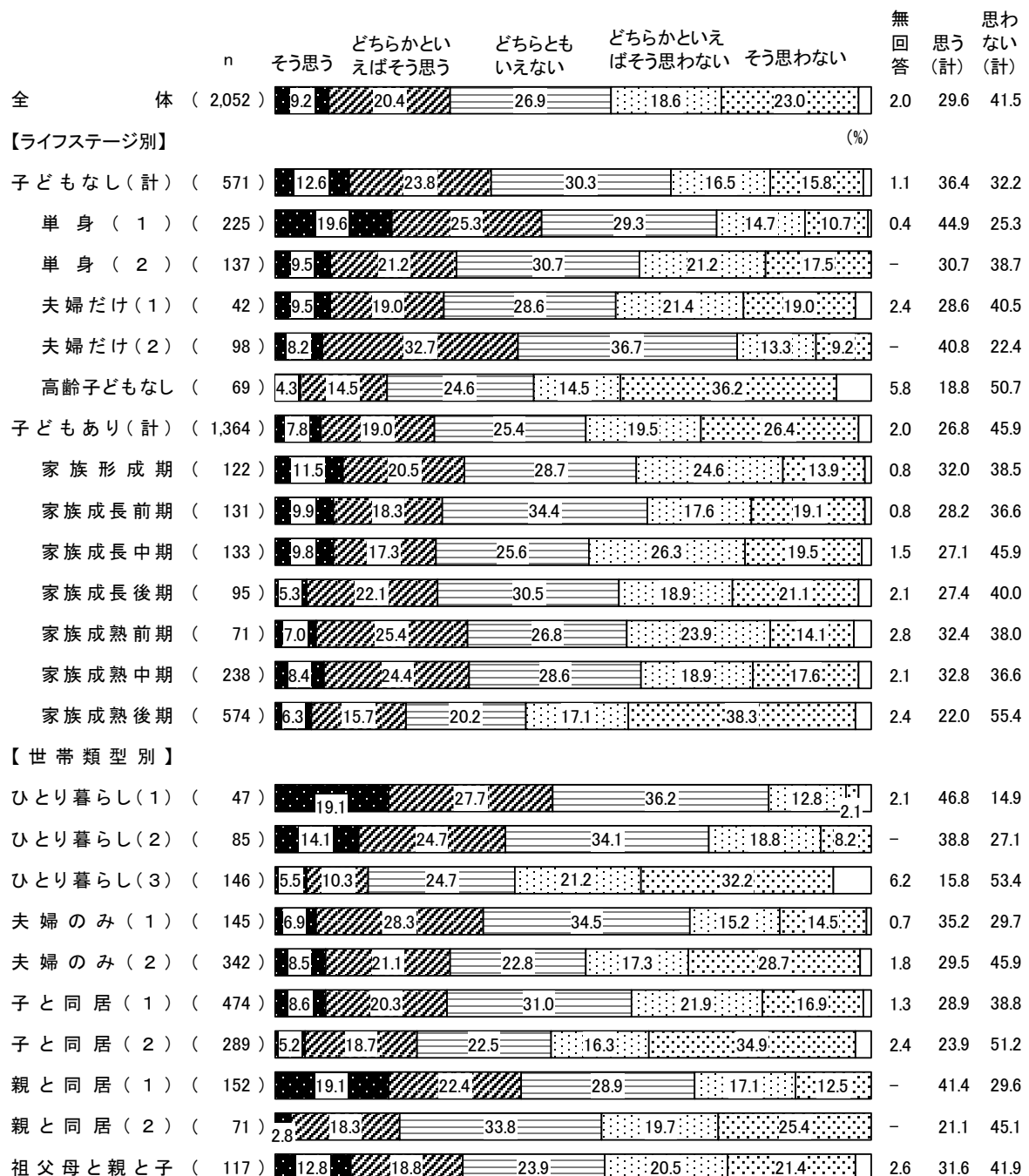
ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は家族成熟後期(55.4%)で5割半ばと最も多くなっている。

⑤ 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい  
 [世帯類型別]

『思わない(計)』はひとり暮らし(3)、子と同居(2)で5割を超える

世帯類型別にみると、『思わない(計)』はひとり暮らし(3)(53.4%)、子と同居(2)(51.2%)で5割を超えて多い。

図3-4-4 住まいに関する価値観(ア) 同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替えたい [ライフステージ別、世帯類型別]

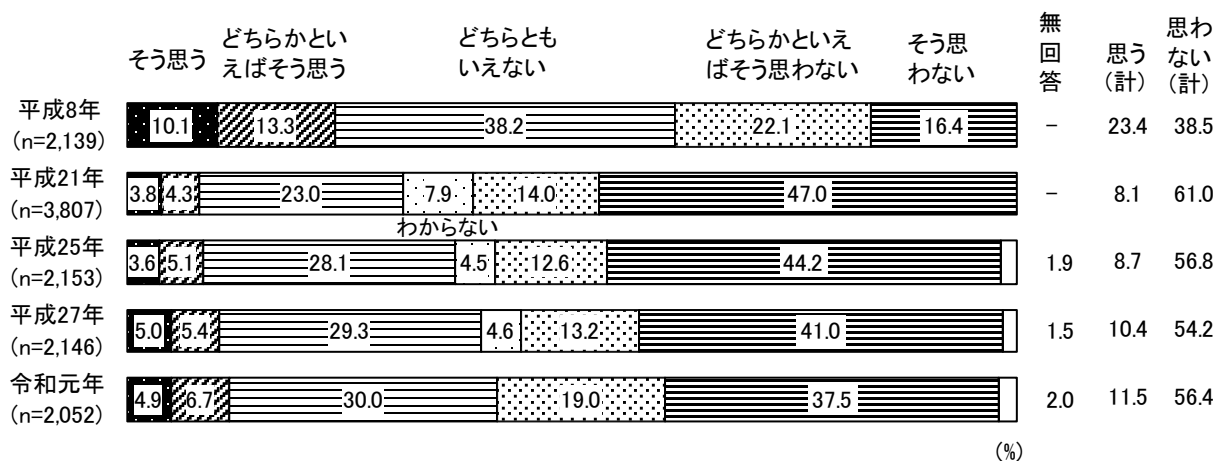


⑥ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [経年変化]

『思わない(計)』は2.2ポイント増加

経年変化をみると、前回調査に比べ『思わない(計)』は2.2ポイントの増加となっている。『思う(計)』は平成21年から微増の傾向が続いている。

図3-4-5 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [経年変化]



※平成8年度は、「思う」は「まったく思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

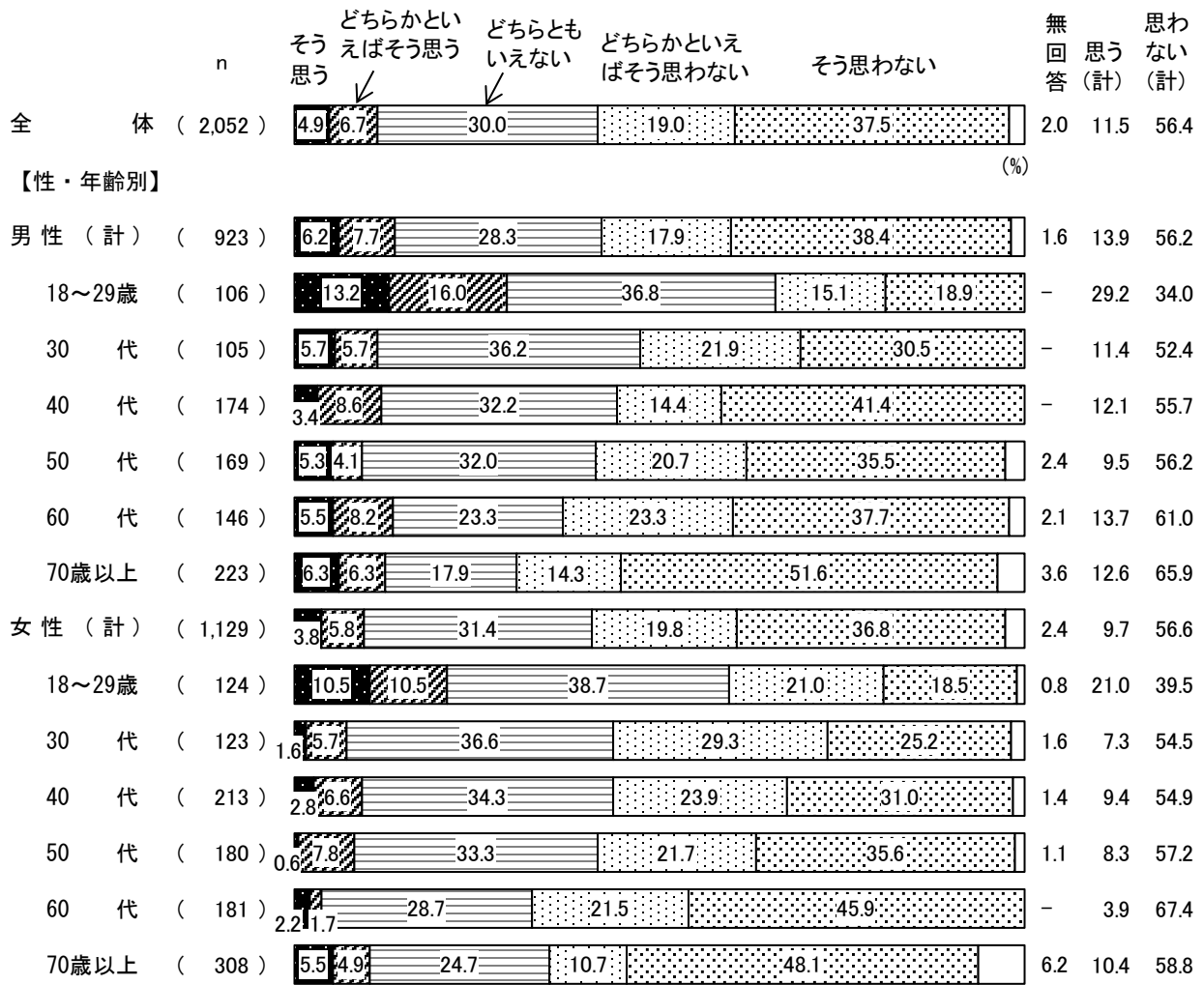


⑦ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [性・年齢別]

『思わない(計)』は女性60代、男性70歳以上で6割半ば

性・年齢別にみると、『思わない(計)』は女性60代(67.4%)、男性70歳以上(65.9%)で6割半ばと多くなっている。『思う(計)』は男性18~29歳(29.2%)で3割近くと多い。

図3-4-6 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [性・年齢別]



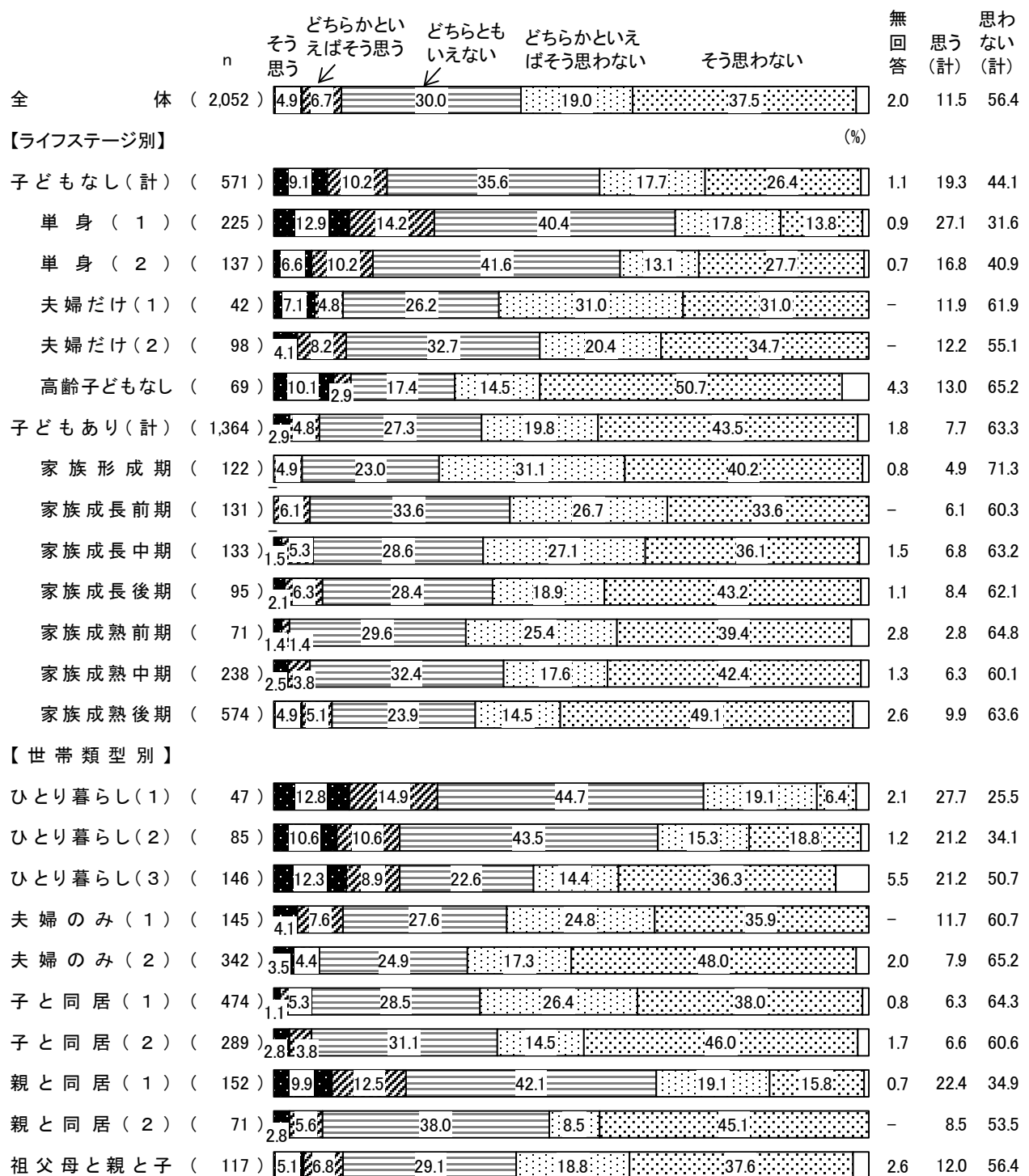
⑧ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [ライフステージ別]  
『思わない(計)』は家族形成期で7割を超える

ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は家族形成期(71.3%)で7割を超えて最も多くなっている。

⑨ 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい [世帯類型別]  
『思わない(計)』は夫婦のみ(2)、子と同居(1)で6割半ば

世帯類型別にみると、『思わない(計)』は夫婦のみ(2)(65.2%)、子と同居(1)(64.3%)で6割半ばと多くなっている。

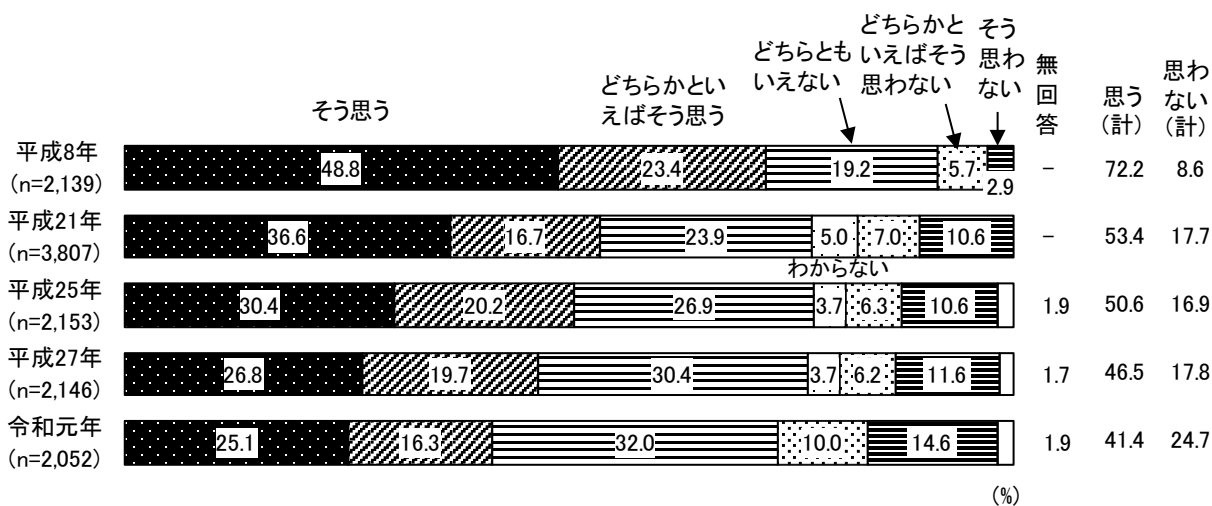
図3-4-7 住まいに関する価値観(イ) 家やマンションを購入するより賃貸のほうがよい  
[ライフステージ別、世帯類型別]



⑩ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [経年変化]  
『思う(計)』は減少傾向

経年変化をみると、『思う(計)』は減少傾向となっており、前回調査からは5.1ポイントの減少となっている。

図3-4-8 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [経年変化]



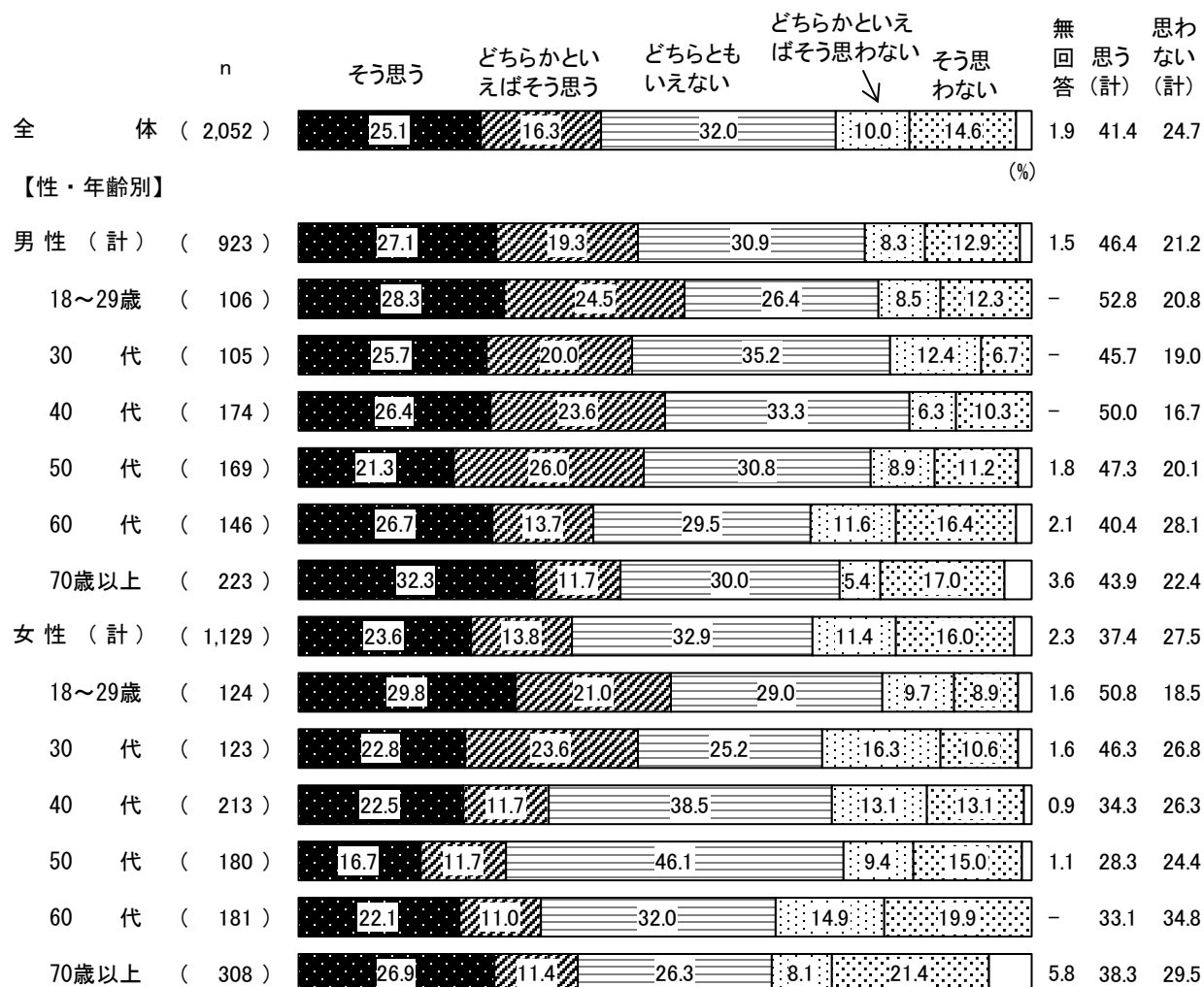
※平成8年度は、「そう思う」は「まったくそう思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

⑪ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [性・年齢別]  
『思う(計)』は男女18～29歳で5割を超える

性・年齢別にみると、『思う(計)』は男性18～29歳(52.8%)、女性18～29歳(50.8%)で5割を超えて多くなっている。

図3-4-9 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [性・年齢別]



⑫ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい

[ライフステージ別]

『思う(計)』は夫婦だけ(1)、家族成長前期で5割半ば

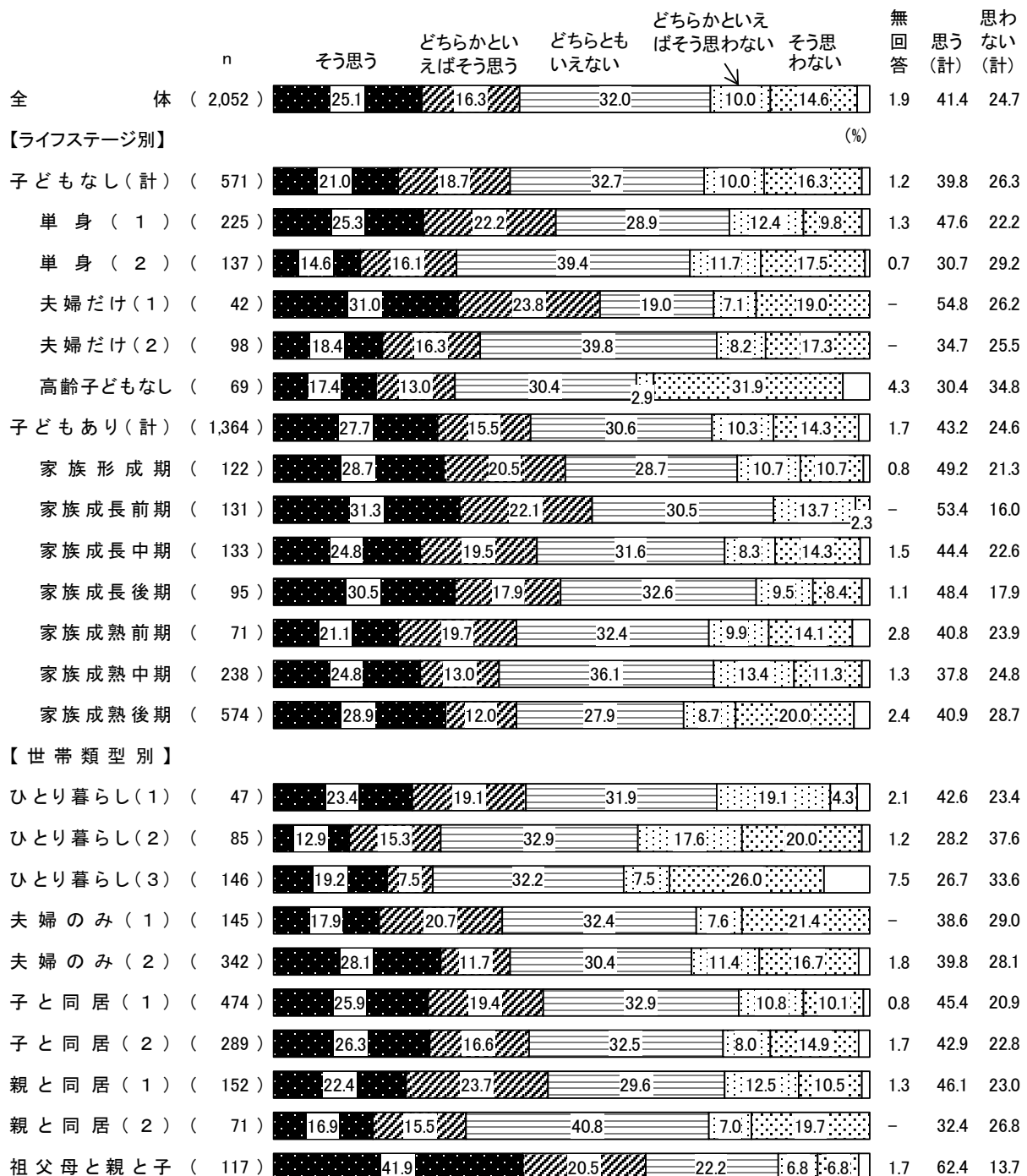
ライフステージ別にみると、『思う(計)』は夫婦だけ(1) (54.8%)、家族成長前期(53.4%)で5割半ばと多くなっている。

⑬ 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [世帯類型別]

『思う(計)』は祖父母と親と子で6割を超える

世帯類型別にみると、『思う(計)』は祖父母と親と子(62.4%)で6割を超えて最も多くなっている。

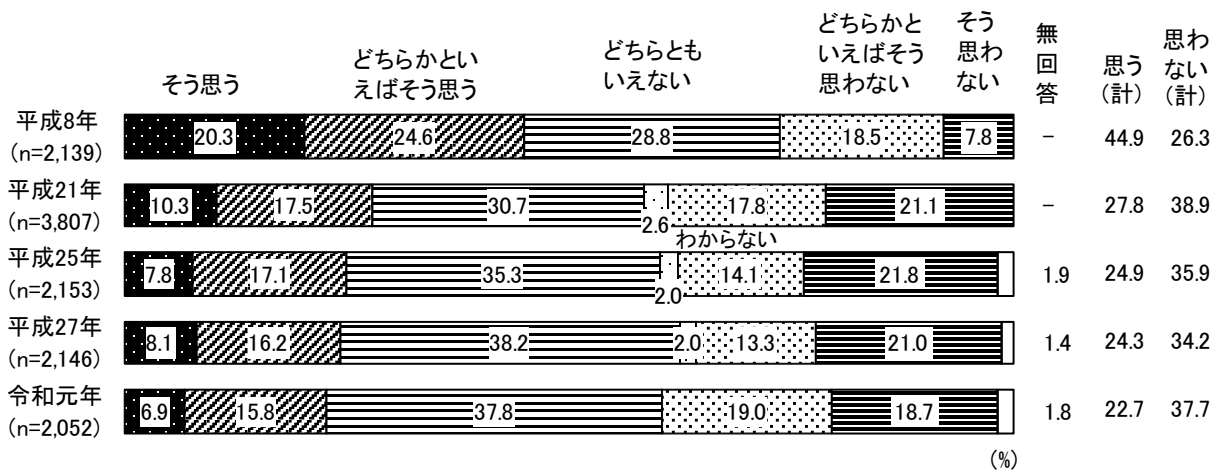
図3-4-10 住まいに関する価値観(ウ) 購入するとしたらマンションより一戸建てのほうがよい [ライフステージ別、世帯類型別]



⑭ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [経年変化]  
『思う(計)』は減少傾向

経年変化をみると、『思う(計)』は減少傾向にあり、前回調査に比べ1.6ポイントの減少となっている。

図3-4-11 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [経年変化]



※平成8年度は、「思う」は「まったく思う」、「どちらともいえない」は「どちらともいえない(わからない)」、「そう思わない」は「まったくそうは思わない」としていた。

※平成21、25、27年調査では「わからない」の選択肢を加えていた。

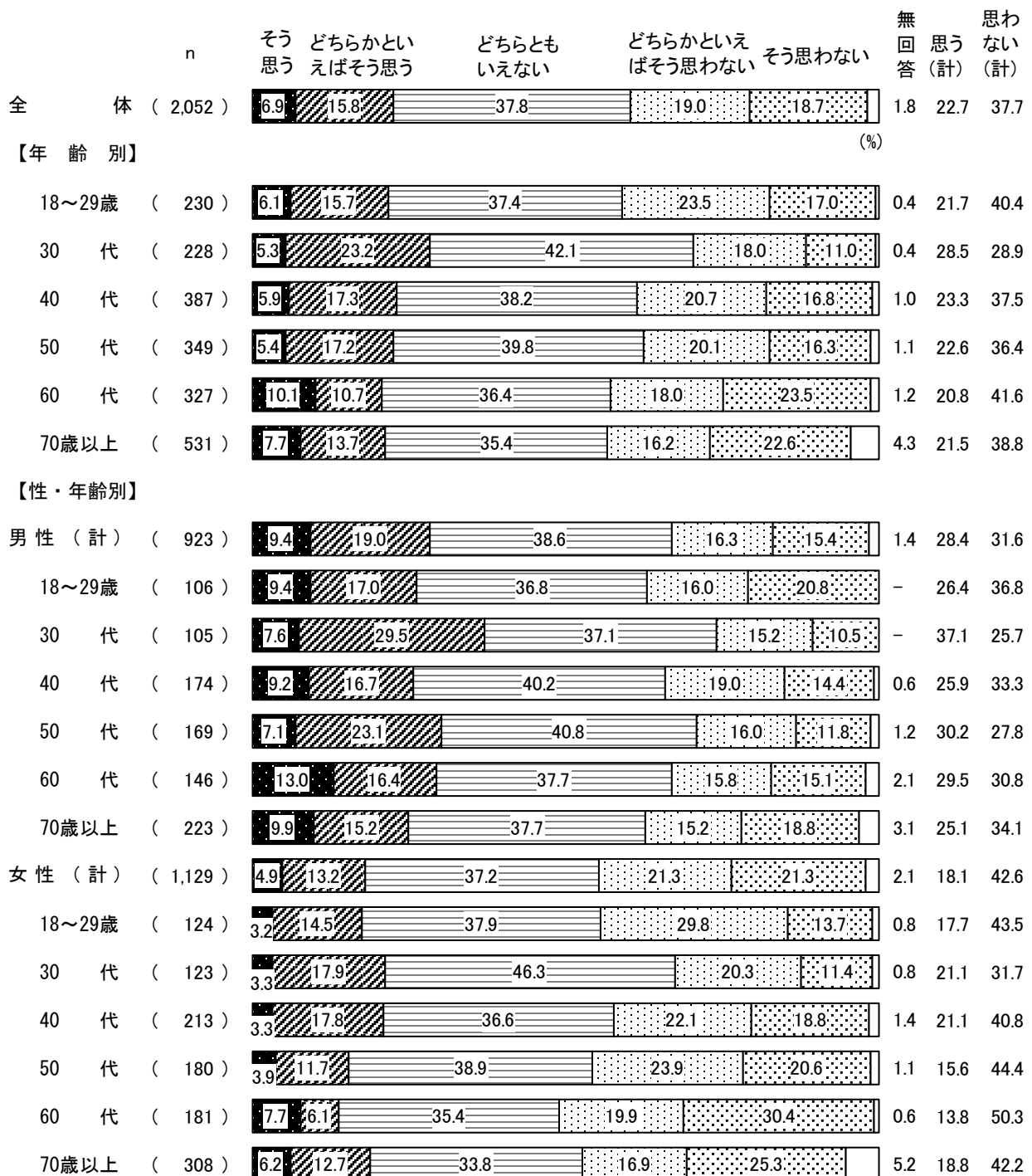
⑮ 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [年齢別]  
『思う(計)』は30代で3割近く

年齢別にみると、『思う(計)』は30代(28.5%)で3割近くと最も多くなっている。なお、70歳以上を70代と80歳以上とに分けてみると、『思う(計)』は70代が1割半ばに対して、80歳以上は3割近くと多くなっている。

⑯ 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [性・年齢別]  
『思わない(計)』は女性60代で5割を超える

性・年齢別にみると、『思わない(計)』は女性60代(50.3%)で5割を超えて最も多い。

図3-4-12 住まいに関する価値観(工) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい [年齢別、性・年齢別]



⑩ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい

[ライフステージ別]

『思わない(計)』は夫婦だけ(2)で4割半ば

ライフステージ別にみると、『思わない(計)』は夫婦だけ(2)(46.9%)で4割半ばと最も多くなっている。

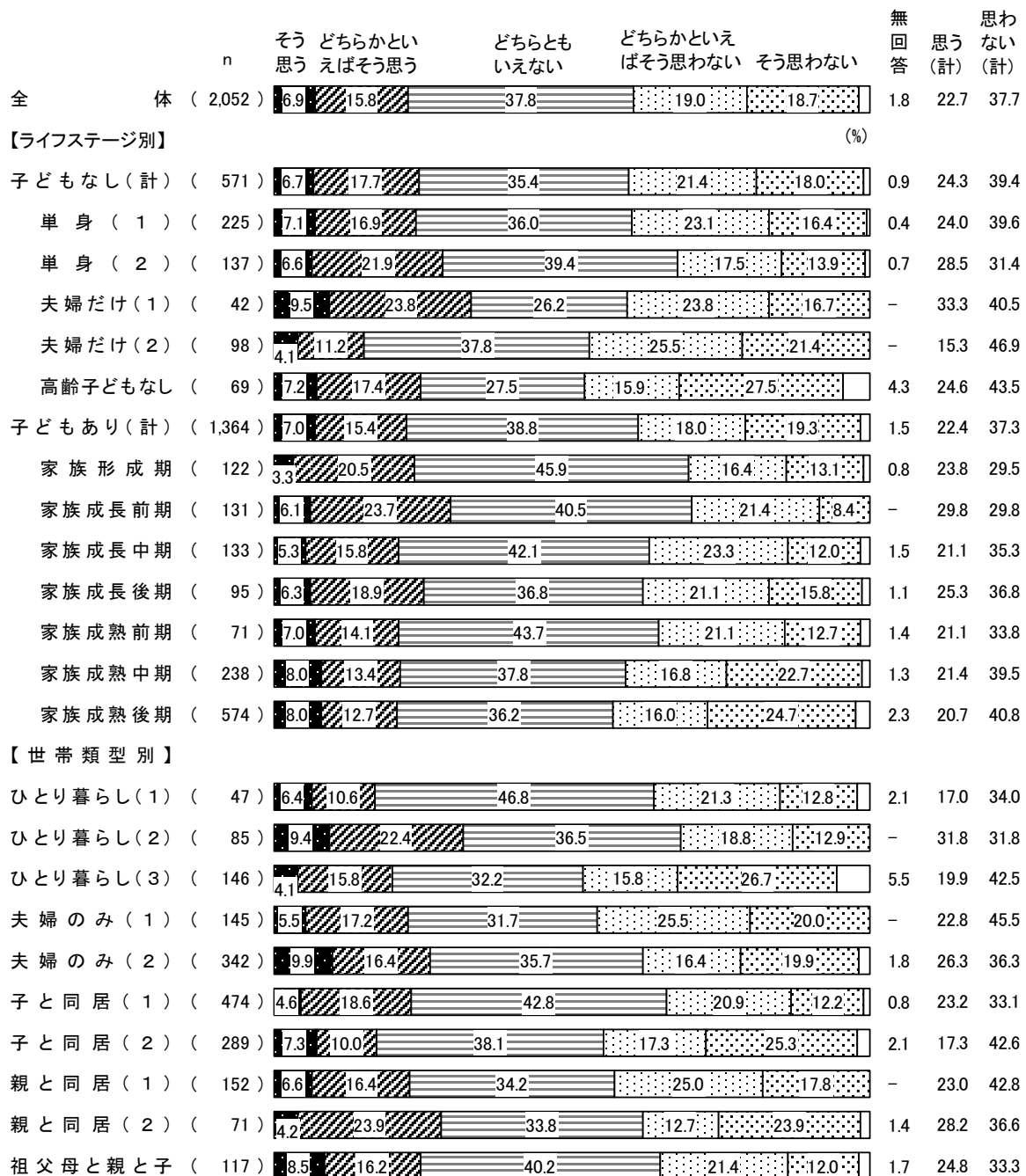
⑪ 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい

[世帯類型別]

『思う(計)』はひとり暮らし(2)で3割を超える

世帯類型別にみると、『思う(計)』はひとり暮らし(2)(31.8%)で3割を超えて最も多くなっている。

図3-4-13 住まいに関する価値観(エ) 便利でにぎやかな都心より不便でも静かな郊外に住みたい  
[ライフステージ別、世帯類型別]



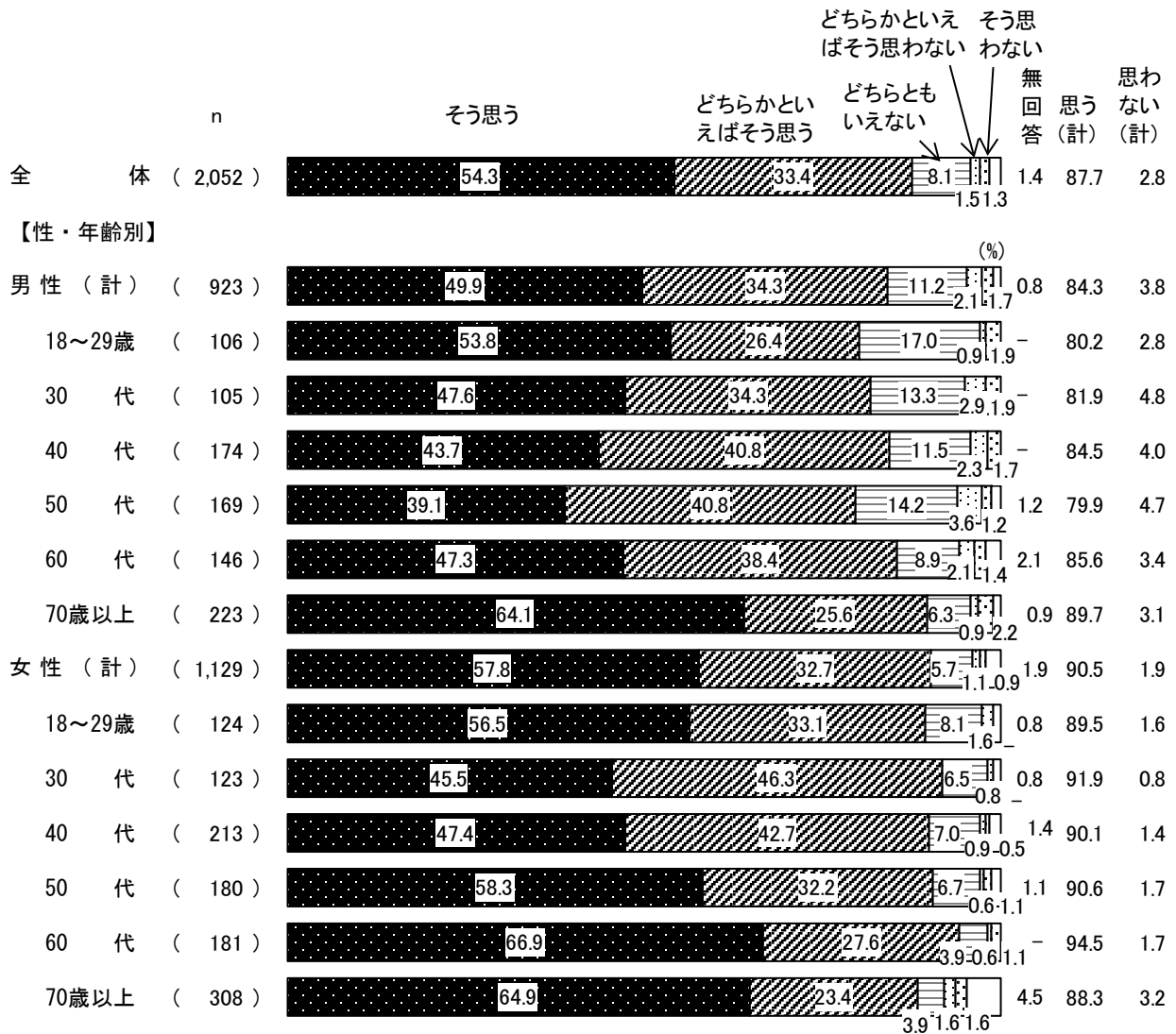


⑱ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [性・年齢別]

『思う(計)』は女性60代で9割半ば

性・年齢別にみると、『思う(計)』は女性60代(94.5%)で9割半ばと最も多くなっている。また、『思う(計)』はおおむね男性よりも女性のほうが多くなっている。

図3-4-14 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [性・年齢別]



⑳ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [ライフステージ別]

『思う(計)』は単身(2)で約8割と少ない

ライフステージ別にみると、『思う(計)』は単身(2) (81.0%)で約8割と最も少なくなっている。

㉑ 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ [世帯類型別]

『思う(計)』はひとり暮らし(1)、ひとり暮らし(2)で7割半ばと少ない

世帯類型別にみると、『思う(計)』はひとり暮らし(1) (74.5%)、ひとり暮らし(2) (76.5%)で7割半ばと少なくなっている。

図3-4-15 住まいに関する価値観(オ) 住まいの場所については交通の便が重要だ

[ライフステージ別、世帯類型別]

